

えげおさんてん

笑顔燦燦



八代小学校だより

WITHコロナ時代！？

新型コロナ感染が熊本県内で拡大傾向に転じ、さらにこの八代市に及んだという報道がありました。しかも学校関係者も含まれていたことは、学校現場として大きな衝撃でした。本校においては、児童にも教職員にも新型コロナウイルスへの感染者は確認されていませんが、コロナが自分たちの生活の身近に存在していることを再認識させられたところです。一部では、感染の長期化に伴い、コロナとの共存・共生を模索する「withコロナ時代」の生き方を模索する動きも出てきました。

現在、八代小学校では、「八代小感染防止マニュアル」を作成し、外部指導者との接触や複数学年・学級での活動の中止、学校行事の見直し、密にならない授業方法の工夫、換気の徹底、共用で使用するものの消毒、子供たちのマスク着用と手洗いうがいの習慣化への指導等、精一杯の感染防止対策を講じながら教育活動を進めているところです。保護者の皆様にも、朝の検温をはじめとするお子さんの健康チェックやマスク着用のご協力をいただいております。

これからも、出来る限りの感染防止対策を講じるなかで、より効果的な教育活動の在り方を求めていくとともに、感染の拡大状況に応じて、随時教育活動の見直しを図ってまいります。

なお、本校の児童及び教職員に新型コロナ感染の事実が発生した場合（PCR検査で陽性判定）は、メールにて速やかにお知らせいたします。

『自分からあいさつのできる 笑顔いっぱいの八代小』

～ 八代小学校児童会 本年度活動目標が決まりました！ ～

新型コロナ感染拡大に絡み日本全国の小中学校が臨時休業となりました。その際、定められた授業時数をどう確保するのか、教科書の学習内容をどう取り扱うかについて、大きな議論となり、オンライン授業の実施や夏休みの縮小等の対応がとられました。しかし、教育の現場にいる身としては、「学校での学びは、はたして授業だけなのか？」という疑問がわき起こってきます。たしかに、授業は「生きる力」につながる基板を体系的に学ぶ欠かせない場です。ただ、それだけでは本当の意味での「生きる力」には、つながりません。授業で学んだことを、具体的な実践に生かしていく「学び」もまた必要です。その意味において、学校生活における日々の「遊び」や「掃除」の時間、また「運動会」「卒業式」等の節目の学校行事は、その絶好の学びの場となります。特に児童会活動は、子供自身が、実生活の中で課題をとらえ、課題解決の方法を模索し、異年齢の仲間と協力しながら実行する、学びの集大成の場です。これらの活動の中で、子供たちが驚くような成長を目の当たりしてきた身としては、授業だけでなく、日々の活動や学校行事、そして児童会活動等も大切にしていきたいと感じています。

臨時休業で遅れていた児童会活動も、いよいよ本格的にスタートしました。そして、スタートに当たり本年度の児童会目標として「自分からあいさつのできる 笑顔いっぱいの八代小」を掲げました。子供たちが、「みんなの笑顔」のため、どのような取組に挑戦していくのか、非常に楽しみです。私たち教職員も、子供たちの主体性を大切にしながら、その取組を支えていきたいと思えます。

自分たちのできること ～「困っている八代の仲間達の力になりたい」～

熊本県南部をおそった豪雨は、私たちの八代市にも大きな被害をもたらしました。現在、坂本町の八竜小学校と坂本中学校は、自分たちの学び舎ではなく、他校での授業再開に向けて準備を進められています。

そんな現状を知った子供たちは、「困っている八代の仲間達の力になりたい！」という思いを持ち、先生方と相談の上、募金活動を行い、直接困っている八代の仲間へ届ける計画を立てました。

児童会を中心に、チラシを作成して全校児童とご家庭に協力を呼びかけ、募金活動を行っています。

八代小の子供たちの支援と思いは、しっかり八竜小学校の子供たちにも届くものと思えます。



募金箱も自分たちで作りしました。



全校児童に協力を呼びかけまし



たくさんの気持ちが集まりまし